

平成 27 年度の事業の達成状況と実績

本事業は採択期間5年間を終了し、平成27年度は、本学独自予算にて継続実施した。平成27年度の実績は、次の4項目である：①若手女性研究者養成システムの推進により平成25年度採用の新規養成女性研究者を支援した。②研究スキルアップシステムの推進により理工農学系の既存籍女性研究者を支援した。③若手研究者サポートシステムを推進し、メンターチームによる新規若手女性研究者の進捗状況の把握及び指導助言を行った。④メンターチームの評価制度を導入したPDCAサイクルによる指導助言体制の改善を行った。

平成27年度の理工系分野の女性研究者比率は、25.5%（平成28年1月1日現在）であり、計画どおり20%以上を維持している。

以下にそれぞれの項目を具体的に示した。

① 若手女性研究者養成システムの推進

平成25年度採用の新規養成女性研究者（理学系2名）に対し、研究費の支給等により養成支援を継続して実施した。

② 研究スキルアップシステムの推進

5月、11月及び1月の3回、学内の理工農学系女性研究者を対象に国際会議・国内会議の参加等を支援する「研究スキルアップ経費」の公募を開始し、6月、12月及び1月に、理学系研究者3名、工学系研究者3名及び農学系研究者6名の支援を決定し、申請に基づき研究スキルアップ経費を支給した。

5月、7月、9月、11月及び1月の5回、学内の理工農学系女性研究者を対象に英語論文校閲経費を支援する「研究スキルアップ経費」の公募を開始し、6月、10月、12月及び1月に、理学系研究者4名及び農学系研究者1名の支援を決定し、申請に基づき研究スキルアップ経費を支給した。7月の学内募集には、申請者はいなかった。

③ 若手研究者サポートシステムの推進

平成25年度採用の新規養成女性研究者（助教）2名に対し構成したメンターチームは、引き続き新規女性研究者の研究の進捗状況を把握し、指導・助言を行うなどのサポートを実施し、年度末に「若手研究者サポートシステム報告書」を提出する予定である。

④ メンターチームの評価

前年度末にメンターチームから「若手研究者サポートシステム報告書」が所属部局評価委員会に提出され、部局評価委員会からの「メンターチーム評価報告書」が全学評価企画室に提出され、全学評価企画室が評価を実施した。全学評価企画室の評価報告書に基づき、サポートシステムの改善に活用した。

⑤ その他

<女性研究者ネットワーク>

「女性研究者ネットワーク」を通して、理工農学系の女性研究者を対象とした有益な情報（研究スキルアップに関する公募情報等）を配信した。

<意識啓発活動>

女性研究者養成に係る学内構成員及び学内教職員のスキルアップのため、平成27年12月25日に、法政大学から講師を招き、「信頼関係を築くコミュニケーション」をテーマとした教職員研修会を開催した。

<シンポジウム参加>

平成27年度科学技術人材育成費補助事業シンポジウム「科学技術人材育成 これまでの10年、これからの10年－人材育成について多様な立場から考える－」（平成27年12月14日開催）に参加した。博士人材（社会人ドクターを含む）のキャリアパス、科学技術人材の流動性、企業現場、企業との連携において活躍する人材、科学技術・学術分野における女性の活躍促進等の横断的なテーマについて、大学等関係者、企業関係者、育成対象である若手研究者が講演し、会場参加者が様々な視点から議論した。

数値にみる奈良女子大学の現状

平成28年1月1日現在の奈良女子大学役員及び教職員数は、以下の通りである。本事業による女性研究者の積極的な採用計画により、女性教員比率は35.5%となり、本学が第2期中期目標・中期計画に掲げた「教職員の人事に関する目標：女性教員比率を30%以上にすること」を達成している。

(平成28年1月1日現在)

役員 ()は非常勤				大学教員					附属学校教員			その他職員		
	学長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	計	副校長	教諭	計	課長	一般職員	計
男	1	3	(1)	72	51	5	3	131	3	33	36	9	50	59
女	0	1	(1)	24	22	6	20	72	1	31	32	1	35	36
計	1	4	(2)	96	73	11	23	203	4	64	68	10	85	95
女性比率 (%)				25.0	30.1	54.5	87.0	35.5	25.0	48.4	47.1	10.0	41.2	37.9